

## 令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	18-	6	
会計	款	項	目
一般	10	5	3
課名	社会教育課		
係名	生涯学習係		

## 1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	中央公民館の分館として地域住民の芸術、文化及び社会教育の向上を図り、併せて社会福祉の増進に寄与する。
事業内容	中央公民館の分館として、地域住民の芸術、文化及び社会教育の向上を図り、併せて社会福祉の増進に寄与するため、地域住民のサークル活動や地元自治会等のコミュニティ活動などに利用してもらう。			

## 2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1 笹尾コミュニティーセンター利用者数	16,678	15,775	17,326	人	↑	19,000
	2						
	3						
	4						
	5						
			令和5年度（決算）	令和6年度（決算）	令和7年度（予算）		
全体事業費（千円）			18,493	15,018	17,706		
財源内訳	うち一般財源	1,828	6,073	1,697			

## 3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善&lt;※主管課長記入&gt;

## (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	III 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

## (2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	公共施設等総合管理計画に基づき計画的に改修工事を行い、施設の適正な維持管理に努める。	(3)取組の課題	施設の老朽化の状況によって、公共施設等総合管理計画の見直しを適宜行う必要がある。
②R6年度に実施した取り組み	トイレのバリアフリー化改修工事を実施。また使用料の見直しを実施、歳入増を図った。	(4)今後の改善計画	公共施設等総合管理計画に基づき計画的に改修工事を行い、施設の適正な維持管理に努める